

小・2年生

題材名：「なんでも食べよう」



学級活動

食育の視点



食事の重要性

心身の健康

食品を選択する能力

食文化

社会性

感謝の心

本時の目標：○食べ物は、体内での主な働きで3つのグループに分けられ、それぞれをそろえて食べることの大切さを理解する。
○3つのグループをそろえて食べようとする態度や意欲を持つ。
⇒食に関わる資質・能力：(知識及び技能) (学びに向かう力, 人間性等)

指導上の留意点(○は教師からの発問)

T1 (学級担任)

T2 (栄養教諭・学校栄養職員)

導入

なんでも食べよう

○家の人や先生に「好き嫌いしないで食べなさい」と言われるのは、どうしてでしょう。

展開

○なぜ、好き嫌いしないで食べた方がよいのか、栄養教諭・学校栄養職員の先生に聞いてみましょう。

・食べ物は、体内での主な働きで3つのグループに分けられることを知らせる。

ICT活用

主な働きを説明する場面でタブレットを使用。各グループの働きのイラストをテレビ画面に拡大してピントが合わない状態で表示しておく。徐々にピントを合わせるクイズ形式を用いて説明することで、主な働きを理解しやすく工夫する。確認後は、テレビ画面と同様のイラストを黒板に掲示する。



各グループの食品の説明は、ワークシート[『小学生用食育教材 たのしい食事つながる食育』(文部科学省) P15「好き嫌いしないで食べよう」を活用]の図を掲示用に拡大したものをグループ毎に分けて準備し、黒板に掲示することで伝える。

○前日の給食に使われていた食材が、それぞれのグループの食べ物か、ワークシートに○を付けて調べてみましょう。

・昨日の給食に使われていた食べ物の体内でのたらしきを調べさせる。

・黒板に掲示したワークシートと同じイラストを用いて答え合わせをする。

○給食は、3つの働きをもつ食べ物を組み合わせて献立を作っています。残さず食べることが大切になります。



3つのグループにそれぞれ複数の○がつくことで、3つのグループをそろえて食べるとよいことが視覚的に理解しやすい。

終 末	○本時の学習で分かったことをワークシートにまとめましょう。	・机間指導をし、次回への意欲を持たせる。
--------	-------------------------------	----------------------

評価

- ・食べ物は、赤・黄・緑の3つのグループに分けられ、それぞれをそろえて食べることの大切さを理解できたか。 (知識・技能)
- ・3つのグループをそろえて食べようとする意欲が持てたか。 (主体的に学習に取り組む態度)



板書計画

なんでも食べよう

体をつくる食べ物

はやほねをつくる

きん肉や血をつくる

エネルギーになる食べ物

勉強や運動をする力になる

体のちょうしをととのえてくれる食べ物

おなかのちょうしをよくする

病気にかかりにくくなる

給食の写真

月
日
よ
日
日

「赤・黄・緑」をそろえて食べましょう

<ワークシートに記入する項目例>

「小学生用食育教材 たのしい食事 つながる食育」中学年(文部科学省) P15 食べ物の3つの働き

<参考資料>

「小学生用食育教材 たのしい食事 つながる食育」中学年(文部科学省) 「食育サポート集①」少年写真新聞社

給食時間での指導

- ・好き嫌いしないでなんでも食べようとしているか、振り返る。
- ・「赤・黄・緑の働き」を話題にする。

他教科との関連

- ・道徳「かむかむメニュー」

家庭との連携

- ・学級だより等を通して、家庭へ食べ物の3つの働きについて伝え、そろえて食べるよう働きかける。